

Scoop

2003年 7月

タント

ダイハツ

タイガース元気やと、ダイハツもやる気マンマンやねん
関西弁で「たくさん」を意味するタント発覚



[↑ zoom](#)

短いノーズ、切り立った四方のウィンドウガラス、ダブルAピラーなど、タントの外観デザインはかなり個性的。プラットフォームはムーヴから流用され、コストが抑えられる。

今年はとにかく関西が熱い！ 何しろ、あの阪神タイガースが18年ぶりにリーグ優勝を果たしそうな勢いで猛進中。お膝元の関西が熱気にあふれるのもムリない話だ。その阪神タイガースのホームグラウンド、甲子園球場にリリーフカーを納入するなど、ダイハツは身近な地元企業として長年にわたって親近感をアピールしてきた。

代表車種のミラとムーヴを丸4年で一新し、しばらくは大きなニュースもないと思われていたダイハツだが、さすがに阪神タイガースが活躍しているとなれば一緒に盛り上がろうと意気込んだのか、密かなる隠しダマを開発していることが判明した。その名は「タント」。関西および中部出身者ならピンとくるかもしれないが、タントとは方言で「たくさん」を意味する。では、なぜそんなネーミングに決まったのか、初めてキャッチした外観フォルムを見ながら理由を探していこう。

タントのボディ側面およびハッチゲートは垂直に近い切り立ったデザインに仕上げられ、ボクシーな雰囲気強い。広いウィンドウ面積が確保されることで居住性の良さが外観からもアピールされ、モビリオに似たデザイン手法が用いられている。また、ハッチゲートは上半分が完全にガラスで覆われ、サイドまでガラスが回り込むことでリアビュー全体がモダンに仕立てられる。ガラス下にはコンビランプが置かれるが、左右独立の角丸デザインに処理されており、ザツツが思い出される。つまり、タントはホンダがひと足先に用いたデザイン要素を巧みに取り込み、これまでのダイハツ車とは異なる目新しいイメージをかもし出す狙いで開発されているのだ。

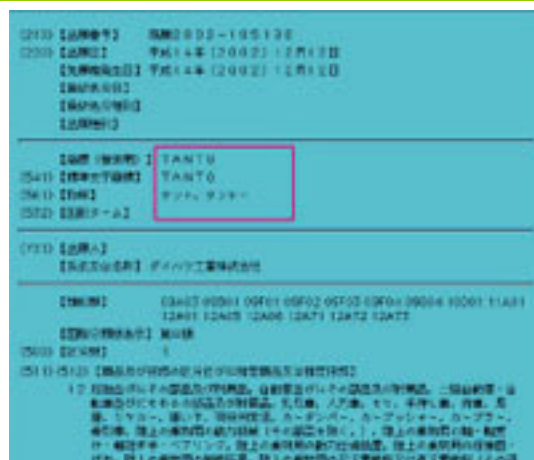
エクステリア最大の特徴はダブルAピラー。その名のとおり、Aピラーが2本設けられてキャビン前端が前方へ出され、先に述べた大きなウインドウグラフィックと相まって広大なキャビンが視覚的に訴求される。記憶に残っている読者もいるかもしれないが、このダブルAピラーは01年東京モーターショーに出品されたコンセプトカー「ミューズ」で提案されていた。2年の歳月を経て角丸デザインとともに実用化へと至ったワケだ。今回の撮影で内装を捕らえることはできなかったが、インパネにはアナログ表示のセンターメーターが置かれ、燃料計などのデジタル・サブメーターも添えられる。運転席前方の空き部分はフタ付ボックスが設けられることでスペースの有効活用が図られる。ムーヴ同様、コラムシフトと足踏み式パーキングブレーキが採用され、サイドウォークスルーも可能だ。当然、全高の高さを生かしてヘッドルームもたっぷり用意されており、ベージュ色の開放感あふれるカラーリングと相まって圧迫感のないキャビンスペースを確保。

垂直ハッチゲートはバンパー上から上方向に大きく開き、使い勝手の良さがセールスポイントに掲げられる。また、限られた空間を少しでも活用すべく、スペアタイヤに代わってパンク修理キットが装備されるとの情報もある。

パワートレインやサスペンションはムーヴと共用。EF-VE型3気筒エンジンのほか、エアロパーツ装備のスポーティ・グレード用にEF-DET型ターボエンジンも用意されるが、JB-DET型4気筒ユニットがラインナップされるかどうかは微妙なところ。低燃費追求モデルとしてCVT搭載車が設定される可能性もある。

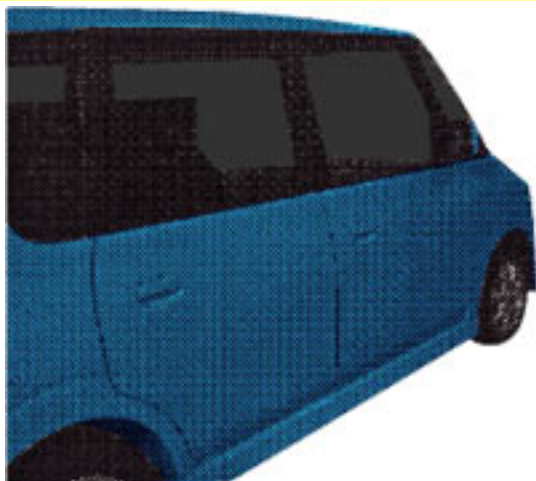
くつろげる広いキャビン、シンプルで親しみやすい外観デザイン、そして使いやすいラゲッジスペース。軽自動車の概念を打ち破る広大な空間を持つからこそ、このクルマには「タント」なる車名が与えられることになったのだろう。独走を続ける阪神タイガースにあやかり、同じ関西発のダイハツにもますます活躍してほしいね。

すでに02年12月、ダイハツは「TANTO」の商標登録出願を行っている。



↑ zoom

極秘テストカーを世界初スクープ



[↑ zoom](#)



[↑ zoom](#)

これがタントのテストカーだ。すでに20台以上が組み付けられ、役員評価や耐久テストなど、さまざまな目的に用いられている。大きなグリーンハウスと切り立ったリアエンドが確認できる。



[↑ zoom](#)

●ミューズ

01年東京モーターショーに参考出品されたコンセプトカー。タントのダブルAピラーや角丸デザインはミューズに由来している。

●はみ出し情報●

ダイハツが手がけている主なクルマの開発コードは以下のとおり。タント：D77、MPC（ストーリーア後継車）：D71、サブBコンパクト（トヨタ&PSAヨーロッパ専売車）：D990。



(210) 【出願番号】 商願2002-105130
 (220) 【出願日】 平成14年(2002)12月12日
 【先願権発生日】 平成14年(2002)12月12日
 【最終処分日】
 【最終処分種別】
 【出願種別】

【商標(検索用)】 TANTO
 (541) 【標準文字商標】 TANTO
 (561) 【呼称】 タント、タントー
 (532) 【図形ターム】

(731) 【出願人】
 【氏名又は名称】 ダイハツ工業株式会社

【類似群】 09A03 09B01 09F01 09F02 09F03 09F04 09G04 10D01 11A01
 12A01 12A05 12A06 12A71 12A72 12A73

【国際分類版表示】 第8版
 (500) 【区分数】 1

(511) (512) 【商品及び役務の区分並びに指定商品又は指定役務】

1 2 船舶並びにその部品及び附属品、自動車並びにその部品及び附属品、二輪自動車・自転車並びにそれらの部品及び附属品、乳母車、人力車、そり、手押し車、荷車、馬車、リヤカー、車いす、荷役用索道、カーダンパー、カーブッシャー、カーブラー、牽引車、陸上の乗物用の動力機械(その部品を除く。)、陸上の乗物用の軸・軸受け・軸継ぎ手・ベアリング、陸上の乗物用の動力伝導装置、陸上の乗物用の緩衝器・ばね、陸上の乗物用の制動装置、陸上の乗物用の交流電動機又は直流電動機(その部





